

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年3月16日

事業所名：COCOSKIP

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	0	0	完全個別の療育のためスペースの確保はできる。	集団指導の際のスペースの確保を行います。
	2 職員の配置数は適切であるか	10	0	0	常勤・非常勤合わせて6人以上のシフト体制を維持できるようにしています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	4	0		歩行困難な利用者やトイレ介助の必要な場合もできる限り職員が個別で対応できるような職員体制を整えフォローしていきます。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10	0	0		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	0		現在、手書きによる評価表を提出してもらっておりますが今後は匿名によりデータで記入してもらえるように工夫したいと考えています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	0	0		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	4	1	乙訓圏域での取り組みとして利用者さんには必ず相談支援員がついてくれており適時相談と助言をもらえる環境になっている。	今後、必要であれば第三者委員会への外部評価の依頼を行う。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	0	各委員会活動での研修会や他事業所との連携を行っています。	今後さらに研修や勉強会の回数を増やしていきます。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1	0		
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	1	0	面談時に使用するアセスメントシートがあります。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	1	0		職員の出勤状況や非常勤の職員にもより支援計画の立案に参画してもらえる工夫を行います。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	0	新しい遊具の購入と遊びのシミュレーションを定期的に行っています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	6	0	長期休暇も含めて支援のプログラムに大きな変更がないようにしています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	0	0	本人との面談が可能な児童とは積極的にモニタリングを行って目標設定をしています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	1	0	朝礼での事前情報共有を行っています。前回の支援内容を確認し支援に入る仕組みを作っています。	通所される全員の事前の打ち合わせを前日や等質に行うことが出来ない中で療育担当者を引き継ぐ工夫を検討しています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	3	0	毎週1時間利用者の振り返りの時間を確保しています。	更に満足度を高めるために振り返りの時間の確保を出来るように努めます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	0	記録を取る専用の職員配置を整えています。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0	0			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	4	0		職員間でガイドラインの読み直しと理解が深められるように研修を行います。	
関係 機	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	0	0		
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	7	1		学校での様子や情報に関しては保護者から直接聞き取りをすることが多い。相談支援員さんとの連携を今後も行う。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	9	1		現在医療的ケアが必要な児童の利用がない。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	4	0		

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関 や 保 護 者 と の 連 携	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	5	0		相談支援員さんに情報の共有や引き継ぎを行っています。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	4	2		利用者が専門機関に通院・通所している場合は積極的に連携を取っています。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	4	6		他施設の児童との交流などを今後検討していく。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	0	6	4		自立支援協議会との連携による研修や勉強会の実施を行っている事を職員に周知していきます。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	1	毎回通所時に15分程度の保護者との面談の時間を取っています。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	5	0		まずは職員間でのペアトレの研修と勉強会から実施していきます。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0	0		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	0	毎回通所時に15分程度の保護者との面談の時間を取っています。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4	5		コロナの状況もあり現在行っていないが今後開催を検討していく。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1	0		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	0	5	5		イベントや行事などの活動を設定していない。
	35 個人情報に十分注意しているか	9	1	0		
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	1	0		
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	7	3		現在検討していません。
非 常 時 等 の 対 応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10	0	0	感染症災害対策委員会を中心に研修や勉強会を行っています。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	0	感染症災害対策委員会を中心に研修や勉強会を行っています。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	1	0	虐待防止委員会を中心に研修や勉強会を行っています。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	2	0	身体拘束委員会を中心に研修と勉強会を行っています。	毎年、研修を行い職員間の理解を深める。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	7	3		飲食の提供を行っていません。利用者へのアレルギー等の聞き取りは行っています。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	3	1		過去のヒヤリハットのケースを保管はしていますが定期的に共有などが出来ていないため今後検討していきます。